

樹脂材料に関する評価・解析はおまかせください

# 樹脂材料の耐火性試験評価サービス

## ■ 概要

近年、樹脂材料は電子部品の構成材料として幅広く使われています。しかし電子部品内に組み込まれた抵抗、コンデンサ、IC、トランス、コネクタなどの部品は動作時に比較的高温になり、特に短絡、開放などの故障時においては過熱状態となる可能性があります。それが周辺の樹脂材料の変形や発炎を引き起こし、トラブルの要因となります。

## ■ 特長

樹脂材料の耐火性評価としては、計量法に基づく特定計量器の電気計器型式承認試験要求事項であるニードルフレーム試験やグローワイヤー試験があります。これら耐火性試験とともに、赤外分光分析（FT-IR）を用いた化学的な解析を実施する事で、樹脂材料の劣化状況の確認、構成物質の特性変化の確認、樹脂材料の耐火性評価を実施することが可能です。OKIエンジニアリングでは、樹脂材料の耐火性試験評価に関する様々なニーズにお応えします。

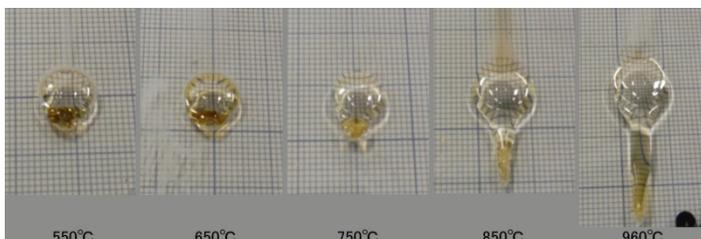
## 事例2 グローワイヤー試験後のPET樹脂の評価

### ■ 実施例

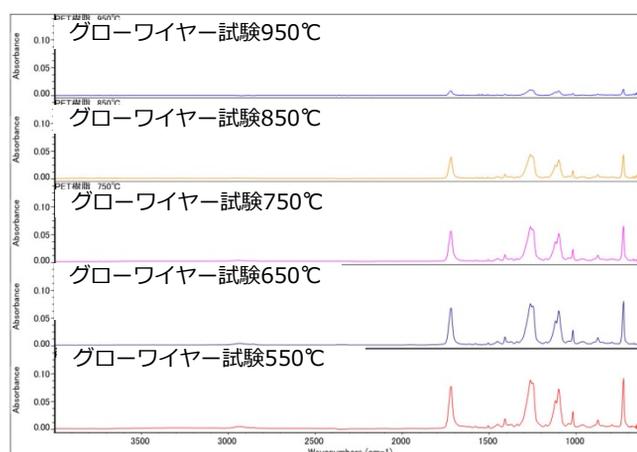
試験の温度条件による樹脂の状態を解析します。本評価では、グローワイヤー試験は温度の上昇に対応して、残存している箇所の樹脂が低分子化し相対的にピークが小さくなっていると推測されます。



グローワイヤー試験



ポリエチレンテレフタレート（PET樹脂）グローワイヤー試験



ポリエチレンテレフタレート（PET樹脂）温度別グローワイヤー試験後のFT-IR測定結果

**OKI 沖エンジニアリング株式会社**

〒179-0084 東京都練馬区氷川台3-20-16

TEL : 03-5920-2300 (代表)

URL : <http://www.oeg.co.jp/>

お問い合わせ先  
 沖エンジニアリング株式会社  
 環境事業部 調査分析グループ  
 TEL : 03-5920-2356  
 E-Mail : [oeg-enw-div@oki.com](mailto:oeg-enw-div@oki.com)